



凡例	
避難所	○
一時避難所	○
水が早めに	●
浸かりやすい場所	●
水が流れ込む方向	→
マンホール	✗
フタの開いた側溝	—
避難路	↙
標高(メートル)	8.5
その他危険箇所	---

## 今後の課題

## 【私たちの課題・心構え】

- 各自が水害に対する意識を持ち、日頃から複数の情報収集方法を熟知しておく。
- 3階建以上の一時避難所を検討する。
- 流されやすいものや燃えやすいものを家の周りに置かない。

## 【行政との話し合い必要】

- 堤防沿い道路の側溝にフタまたはグレーチングをして欲しい。
- 5丁目には1隻のボートがあるが、各地区に1隻準備して欲しい。
- マンホールが多いので、水害時にふたが簡単に取れないようにして欲しい。
- 避難所のコミュニティセンターは水没の恐れがあり、多くの避難者を収容するためにも高層階に建て替えて欲しい。
- 西味鋺住宅を一時避難所にするための協議を早く始めて欲しい。

## 注意点

- 避難通路のふれあい橋～ナベヤ間は、新地蔵川の暗きよがあり、新地蔵川の水位が上がっているときにはマンホールのフタが上がっている可能性がある。(東海豪雨の経験から)
- 暗きよの上は歩かない。
- 堤防近くの住居については早めの避難が重要。
- 避難する際、標高の低い西側ではなく、東へ避難する。
- 平屋の住居の人は早めの避難を心がける。
- 避難する際、歩道の段差やマンホールなどに注意する。
- 庄内側の氾濫時この地域の浸水深の目安は2~3mとなっている。

西味鋺コミュニティセンター

電話: 052-902-0092

